



平成22年3月期 第1四半期

平成21年4月1日～平成21年6月30日

－ 補足資料 －

平成21年7月31日(金)

(2326)デジタルアーツ株式会社

平成22年3月期 第1四半期決算サマリー

DigitalArts.

平成22年3月期 第1四半期決算ハイライト

➤ 企業向け市場

- 世界的に高いウィルス対策技術を有する株Kaspersky Labs Japanおよび丸紅情報システムズ(株)と協業を開始
- 「i-FILTER」のアクセスログを他製品ログを統合し、より横断的な企業の管理基盤整備に貢献する「Logstorage for i-FILTER」の提供を開始
- 「デジタルアーツ パートナー総会」を開催し、パートナー企業各社との協力関係を強化
- 日本最大級のセキュリティカンファレンス「RSA Conference Japan 2009」に出展

➤ 公共向け市場

- 地方自治体や官公庁への販売を推進するため各営業所の体制を強化
- 平成21年度補正予算「学校ICT環境整備事業」により推進される教員および児童生徒向けのコンピュータ整備に対し、「i-FILTER」の拡販に向けた取り組みを強化

➤ 家庭向け市場

- フィルタリングを違法・有害情報対策として位置付けた「青少年インターネット環境整備法」※が施行
- ASUSTeK Computer Inc.の「Eee PC」およびレノボ・ジャパン(株)のPC「ThinkPad」シリーズへ「i-フィルター 5.0」が標準搭載
- インターネット対応テレビ向けフィルタリングサービス「i-フィルター for TV」を開発し、(株)日立製作所のハイビジョンテレビ「Wooo」向けに提供を開始
- 個人消費の低迷や家電量販店のソフトウェア売り場の縮小により、パッケージ販売が減少しているのを受け、首都圏の大手家電量販店等でのラウンダーによる販売推進活動を開始

※正式名称「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」

平成22年3月期 第1四半期決算サマリー(連結P/L)

平成22年3月期第1四半期連結の

売上高は、4億4千8百万円(対前年同期増減率約22%増)

経常利益は、9千2百万円(対前年同期増減率約26%増) となりました。

(単位:百万円)

連結	平成21年3月期	平成22年3月期	
	第1四半期(実)	第1四半期(実)	
	売上高	売上高	対前年同期増減率
売上高	368	448	21.8%
営業利益	73	92	25.5%
経常利益	73	92	26.3%
当期純利益	36	38	4.1%

参考)平成22年3月期 第1四半期決算サマリー(単体P/L)

平成22年3月期第1四半期単体の

売上高は、4億3千8百万円(対前年同期増減率約22%増)

経常利益は、1億3百万円(対前年同期増減率約23%増) となりました。

(単位:百万円)

単体	平成21年3月期	平成22年3月期	
	第1四半期(実)	第1四半期(実)	
	売上高	売上高	対前年同期増減率
売上高	359	438	22.0%
営業利益	83	102	22.4%
経常利益	84	103	22.8%
当期純利益	48	49	3.8%

平成22年3月期 第1四半期市場別売上高(連結) -売上高区分前-

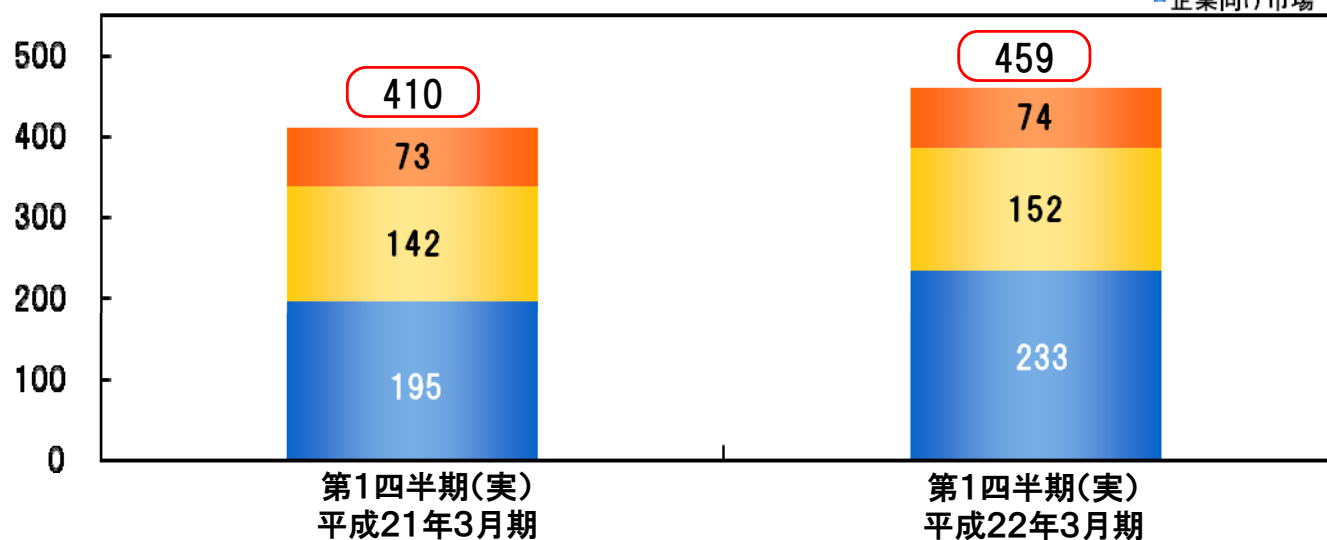
(単位:百万円)

連結	平成21年3月期	平成22年3月期	
	第1四半期(実)	第1四半期(実)	対前年同期 増減率
企業向け市場	195	233	19.5%
公共向け市場	142	152	6.8%
家庭向け市場	73	74	1.4%
合計	410	459	11.9%

(単位:百万円)

市場別売上高の推移(連結)

- 家庭向け市場
- 公共向け市場
- 企業向け市場



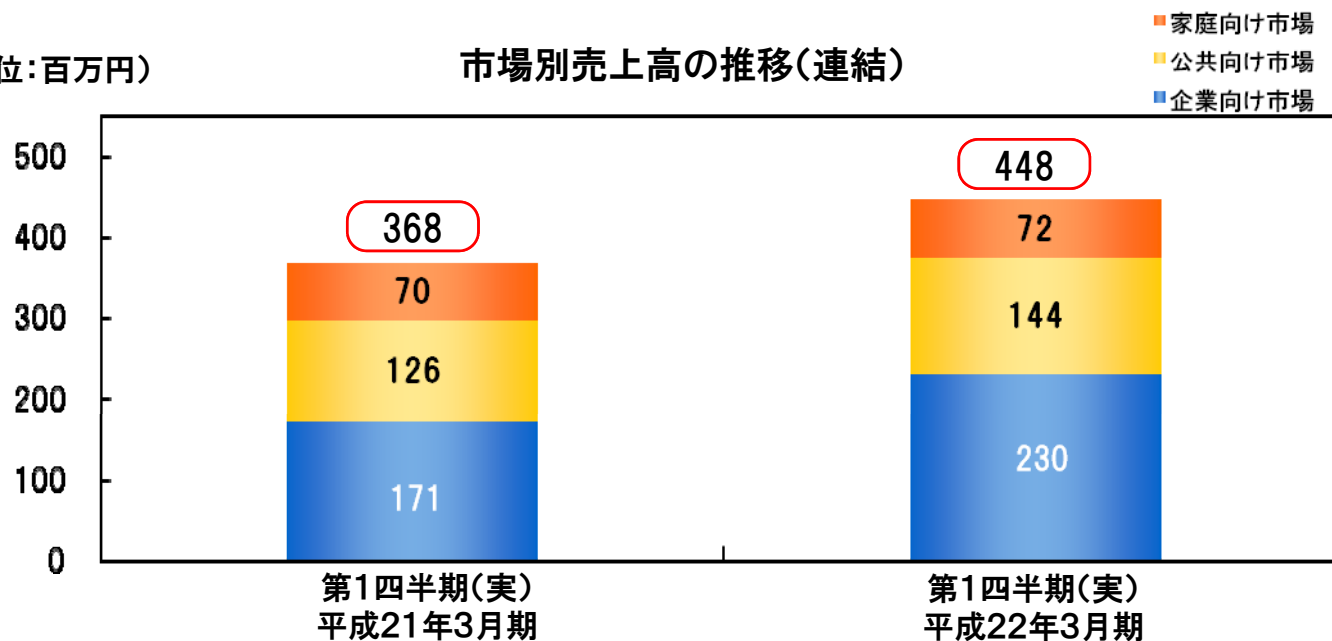
平成22年3月期 第1四半期市場別売上高(連結) -売上高区分後-

(単位:百万円)

連結	平成21年3月期	平成22年3月期	
	第1四半期(実)	第1四半期(実)	対前年同期 増減率
企業向け市場	171	230	34.4%
公共向け市場	126	144	14.4%
家庭向け市場	70	72	4.0%
合計	368	448	21.8%

(単位:百万円)

市場別売上高の推移(連結)

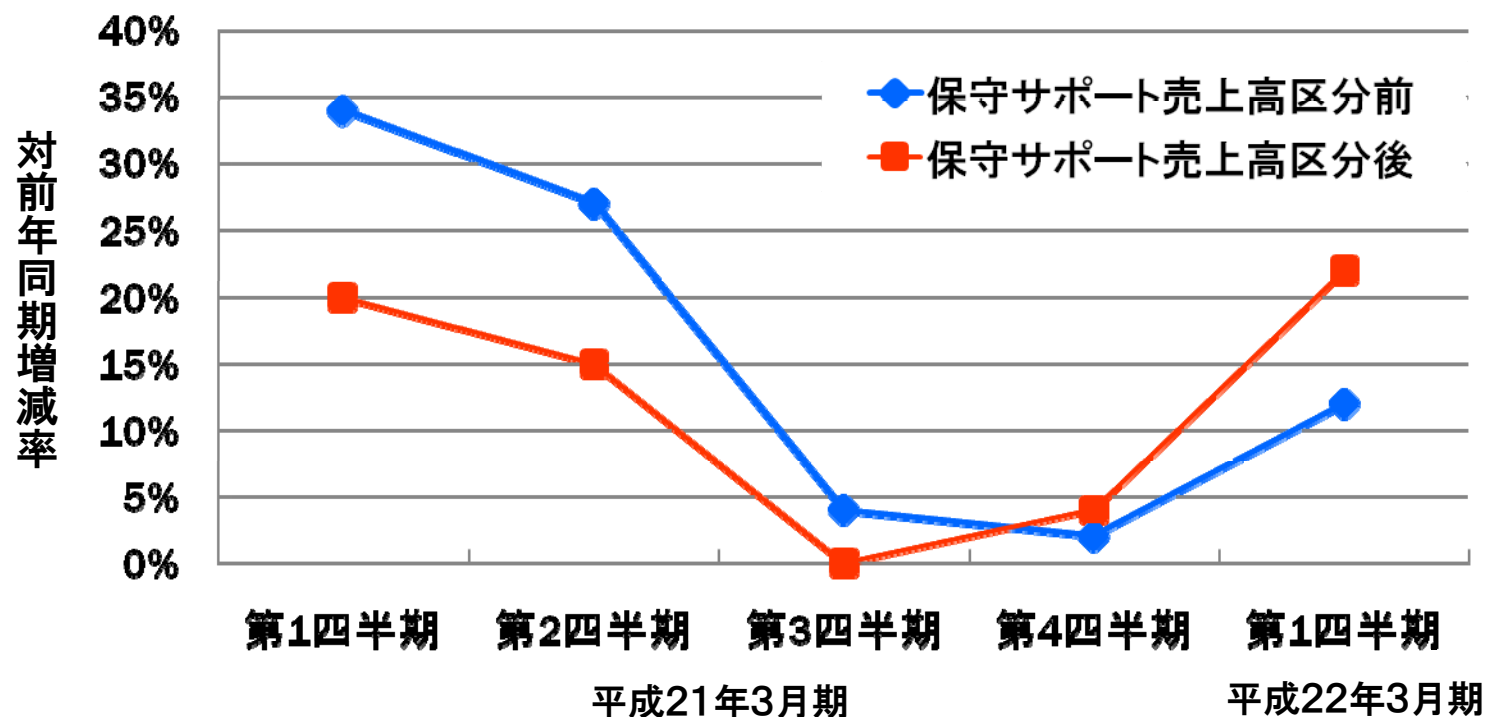


保守サポート売上高区分前及び区分後の売上高推移(連結)

前年同期に比べ

保守サポート売上高区分前の売上高は約12%成長

保守サポート売上高区分後の売上高は約21%成長 を達成。



※ 保守サポート売上高区分前:販売した保守料売上を含む売上(プロフォーマベース)

※ 保守サポート売上高区分後:保守料売上を除いた売上(会計上の数値)

売上原価と販売費及び一般管理費の状況

開発及び営業・マーケティング組織拡充のため、
売上原価は約16%、販売費及び一般管理費は約23%の増となりました。

(単位:百万円)

連結	平成21年3月期	平成22年3月期		
	第1四半期(実)	第1四半期(実)	対前年同期 増減率	主な増減要因
労務費	48	56	15.6%	開発・技術者の増員
その他	44	52	16.8%	
売上原価	93	108	16.2%	
人件費	92	118	28.5%	営業・マーケティングの増員
その他	109	128	18.1%	
販売費及び一般管理費	201	247	22.9%	

平成22年3月期 通期業績予想

DigitalArts.

平成22年3月期 通期業績予想サマリー(連結P/L)

平成22年3月期連結売上高は、
20億4千万円(対前年同期増減率約10%増)、経常利益は6億3千7百万円(対前年同期増減率約1%増)
の予想です。

本通期連結業績予想は、平成21年3月期決算短信(平成21年5月12日)開示情報から変更して
おりません。今後、何らかの変化がある場合は、適切に開示してまいります。

(単位:百万円)

連結	平成21年3月期	平成22年3月期	
	通期(実)	通期(予)	
	売上高	売上高	対前年同期増減率
売上高	1,852	2,040	10.1%
営業利益	629	633	0.6%
経常利益	632	637	0.7%
当期純利益	350	354	0.9%

参考)売上区分変更について

DigitalArts.

売上区分変更について

- 売上を「ソフトウェア部分」と「保守サポート部分」で区別して計上しております。
 - ソフトウェア部分と保守サポート部分を区別して顧客に提供する体制が整ったことにより
ます。
 - 平成20年3月期より開始し、平成21年3月期から本格的な通年での適用をしております。

- 詳細
 - ソフトウェア部分の売上は、従来通り販売した時点で売上計上。
 - 保守サポート部分の売上は、契約月数で案分し売上計上。
販売時点では売上計上せず、製品利用契約期間で案分し、月単位で順次売上計上していく。
なお、当期の売上高に計上されない保守サポート部分は、貸借対照表負債の部の流動負債
「その他」に区分計上されている。
※「その他」には、通常の経費などの未払金が含まれている。

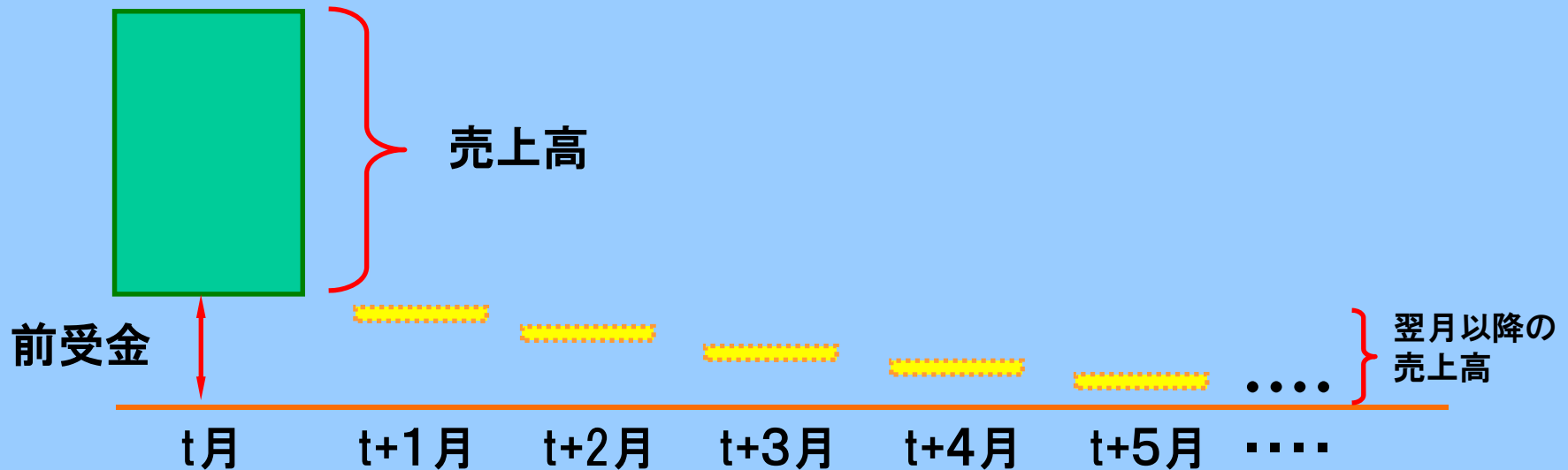
- 平成21年3月期より本格的にこの会計区分変更を適用いたしました。
販売済の保守サポート部分については、販売時点での売上計上はされず、同額が
将来の売上を増加させる。

売上区分変更による計上方法について(図説)

売上区分開始前



売上区分開始後



記述に関するご注意

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であり、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があります。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しております。

デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、アイフィルター/i-フィルター/i-FILTER、m-FILTERは デジタルアーツ株式会社の登録商標です。